

長泉町わくわく塾・伊豆八十八霊場巡礼報告書

報告者 佐藤孝申

文字起 鶴田太郎

年月日 平日 = 2008年10月09日(木・晴)
休日 = 2008年10月26日(日・曇小雨)

回数 2007期 = 第17回巡礼・22名(現地参加1名)
2008期 = 第5回巡礼・15名

巡礼寺・順

* 六十番札所 善福寺(ぜんぷくじ)

415 0553 加茂郡南伊豆町妻良505

TEL 0558 67-0647

* 合祀・行基上人作 不動明王 薬師如来

* 本尊・大日如来 * 山号・龍燈山 * 真言宗(般若院・末寺)

* 草創・草創・不明

* 度重なる災害で記録を失い不明 寛永五年(1628)了快上人が
中興の祖時代が下がって天保年間(1830~1844)心蓮上人に依
り、本堂・庫裏が再建。本尊宮殿の登り龍等の彫刻は、松崎町
江奈の名工・石田半兵衛の作。

* 外に 伊豆七福神巡り五番札所福祿寿が祭られている。伊豆横
道三十一番札所。

* このお寺には安政二年(1855)九月八日江戸幕府の軍艦昌平丸
が荒海を避けて妻良へ入港、勝海舟ら11人が上陸海上の平穩
を待って長崎へ向かって出航した等の記録が残されている。

* 七十番札所 金泉寺(こんせんじ)

415 0532 加茂郡南伊豆町子浦901

TEL 0558-67-0129「管理人・佐野さんTEL」

* 本尊・薬師如来 * 山号・医王山 * 浄土宗(西林寺・末寺)

* 草創・草創・1644(正保元年)

* 無住寺院の為 同地 与工門商店で納経所他管理

* 本堂に阿弥陀如来像 来迎図 掲額

* 本堂に高さ(45)直径(40)小型の釣鐘 所蔵

* 六十九番札所 常石時(じょうせきじ)

415-0326 加茂郡南伊豆町蛇石80

TEL 0558-62-8211

和尚 鈴木 正之 (76才)

- * 本尊・薬師如来 * 脇土 日光菩薩 月光菩薩 十二神将
- * 山号・塔峰山 * 曹洞宗(慈雲寺・末寺)
- * 草創・慶長年中期(1596~1614)慈雲寺四世僧、全鉄により開祖。
- * 由来・蛇石(じゃせき)この土地の名 蛇石の起源となった「蛇石」がこの近くの二級河川、青野川基点から下流30mの向岸(左岸)に大きくて長い頭と胴と頭を出している。いかにも、蛇の頭部のように見る者に自然の力を見せている。大蛇は頭から尾まで2400mと言われている。
- * 本尊、薬師如来像と供に、日光菩薩像、月光菩薩像、十二神将が祀られている。

* 七十一番札所 普照寺(ふしょうじ)

- * 本尊・正観世音菩薩 * 山号・翁生山 * 真言宗(高野山、高室院・末寺)
- * 草創・草創・793(延暦十二年)793)地元漁師の網にかかった 観音様を祭った。
- * 由来・本尊は、行基上人の作で県の重要文化財。他に泰庵書の大般若経(六百巻)、大中臣友綱寄進の鐘、鰐口がある。これは県の重要文化財。
鰐口 = 社殿。仏堂正面の軒下につるす金属製の音響具 扁円・中空で下方に横長い口がある。参詣者は布で編んだ網を振り動かして打ち鳴らす。金鼓(こんく)。
- * 注目・伊豆蜂起に記載されている伝説などによると延暦十二年(793)正月海からあがった良材木で行基上人が観音像を造ったがこの伊浜を領していた者の下僕の一角が海に捨てて逃げた。そののち帰ってきた一角が、この捨てた観音像と対面・改心し、信仰厚く勤めていると夢枕に観音様が表れ、栗の種を授け蛇野(あざの)に蒔くようお告げがあった。お告げに従い栗を作り、豊かになった。
閑話休題 話には読きがあった。近年の事 伊浜に大家(おおや)とゆう屋号で昔名主を務めていた家で栗が見つかり、県立植物試験所発芽に成功した。毎年栽培を重ねて種子を保存している。このことは平成六年秋、テレビでも放送。

いまでは、この粟を使い土産物も発売されている

* 高台にあった真言宗の草庵を、1460-65(寛正年間)僧・盛賢上人により現在地に再興する。

距離	約 1.5km + 約 4 km + 約 4.5 km + 約 4 km = 14 km。あと 6 km 位で、第 72 札所禅宗寺 (松崎町石部)
タイム	下土狩 5 : 20 三島駅 5 : 35 尾ヶ崎ウイングー 7 : 05 ~ 10 善福寺 7 : 50 ~ 8 : 00 金泉寺 8 : 45 ~ 9 : 10 常石寺 10 : 40 ~ 11 : 20 普照寺 12 : 45 ~ 14 : 00 途中雲身標識 15 : 15 「山の家」 16 : 00 ~ 17 : 30 - 下土狩 19 : 40
温泉	松崎町「大沢荘・山の家」・・・100%野天風呂 500円 TEL 0558-43-0217
その他	法話 = 常石寺 (平日・休日とも 2000 -、休日はお接待あり) = 普照寺 (休日のみ 1000 -)
参考HP	ガイドブック・伊豆八十八霊場

(はじめに 9月11日、第4回・平日巡礼、法泉寺～善福寺の記録 = この項のみ・後藤)

61番札所・法泉寺でおつとめを済ませたのが 15 : 10 ころ。巡礼終了時間には少し早いので、ここは一番、妻良・善福寺まで足を伸ばす。疲れた方はバスに乗り、荷物の重い人は、バスに預けた。

坂道を上り、妻良に入るトンネルを抜けると、今度は急な下りが一気に海に続く。どんどん下降して行くと左手に「三島神社」があった。鳥居の狛犬が柔らかい岩石らしく、海岸の岩壁のように筋状に風化しているのには驚いた。余程、風も強いのか？

その先が善福寺の入り口。寺の大お母さんが我々を迎えてくれた。このお寺は高野山・真言宗。伊豆八十八も案外、真言宗は少ない。歴史もあり、1855年には、勝海舟が荒天を避け寄ったこと、また、本尊宮殿の登り龍・降り龍等の彫刻は、名工・石田半兵衛の作と言われる。ご本尊は60年に一回の御開帳でなかなか拝めないそうです。

ご朱印をいいただき寺を辞す。寺の入口で干物を作っているオバサンがいて、目刺を分けて貰う。中指大、50匹で300円は安い。しかも、朝取りで新鮮。塩分も少ない。2パック買っちゃいました。今日の巡礼はここで終了。温泉に

向かう。

善福寺



目刺



(ここから、今回の佐藤さんの報告です)

朝四時起き、今朝は天気晴朗。テンション高く安眠には恵まれないものの5：00に家を出る。下土狩J Aには講師G氏が先着。

5：20分出発順調に走行。日の出は6：00ごろだが6：30頃河津ループ橋、手前あたりから秋の朝日。中伊豆の山並みは光るみどりがすばらしい。ずっとひたすら、かたり読きたいとおもったが・・・この頃から414号線も車の往来が目立ってきた。気になる程でもなくバスは順調そのものでした。

午前中から暑くなる予感がしてきた。60番札所、善副寺へはバスで7：50分着。寺門前右手のお宅で妻良の海で取れ立鰯の目刺しがおいしく、且安価とのことで講師をはじめ、おおくのお仲間が買い求め、バスで保冷して頂き、帰りに持ち帰りをした方のおおくのご家庭では今晚おいしいにおいがただようでしょうか？

善副寺出口 妻良公会堂から緩やかな登りを東条トンネルー田面トンネルー白崎トンネルー。やがて、子浦をすぎたころ、進行左手に妻良漁港。子浦の海水浴場にちかずいてき、狭い道幅でラストの上り勾配の道を上りつめ、一番高台の階段の上に無住の閑静な小社然とした金泉寺がひっそりと佇んでいる。

寺の外側斜面右は、檀家のお墓が5～60基あり、目立ったのは石垣家のお墓でした。寺から子浦の海の眺めはまことののどかで平穩を絵にしたよう。

寺・本堂は締め切っている様子で今日も檀家役員、佐野様の奥様が坂道をご苦労して、カギを持って待ち構えてくださりありがとうございます。

尚ご朱印帳は佐野様のお宅で直接お世話頂いた。さて子浦の海水浴場駐車場



金泉寺



ご本尊

広場から9：10発。しばらく県道119号線を、清流五十鈴川を右手下に見、20m位高架の国道136号線の下をぬけ、かなりの上りを歩く。

昨日は寒露の日。暦の上では晩秋に入ったが、明日は10月10日、天気の特異日の実績通りが期待され中日の今日もすでに25度過ぎになり、汗もしたり落ちはじめ。

2～30分歩き進め上り坂。途中にあった道標、右上小野へ7km直進、市の瀬4kmの登り坂も難所越の目安が着くころ若干の余裕もうまれ道すがら自然な朱色、芙蓉の花や朝顔の花、尾花を見て、こころなごませさらにほたるの里の看板もあちらこちらにあり手付かずの自然(?)におもわずありがとと小さな胸をなごませた。

登ってきた右下奥、すこし歩けば後方に妻良・子浦の海岸のコントラストが、陽光に映え目を見張る景色をみせてもらいました。一方、ここから遅れがちな人が出るも、一行は遍路の厳しさ楽しさに酔いしれる様に夢中で歩みを伸ばす。

昔は往来が多かったのだろうか、ここの峠には立派な大きなお地藏様が2体佇んでいた。この下すぐに人家を3、4軒固まっているところでめずらしい、小麦を天日で干していた農家があり嬉しくなりました。右手に別荘地があり、横浜から来たご婦人が、犬と遊んでいた。ここで、Tさんが疲れ、バスに乗車したいが、バスがないのでG講師が走って、蛇石まで呼びに行く。

市の瀬上谷戸橋で後続をお待ちいたしたのち県道119号線と県道121南伊豆松崎線に合流。左折して道なりに歩きを進め平戸口バス停で右折蛇石道路に入る。

15分位で常石寺の麓が見えてくる。バス停蛇石口の手前を左折して小川沿

いに3～4分で常石寺に着く。和尚さんが住まいしておられ曹洞宗（永平寺で修行してお坊さんになられたとか）鈴木正之氏と称し昭和7年生まれ。申年、76歳だそうです。お寺の由緒を話されましたが、お寺の存続話しが中心の法話(?)でした。(休日巡礼はここで昼食・休憩で、お茶・おしんこ・お菓子・ミカンの「お接待」を受けました)

お寺を去る時、住職が講師にモナカのお土産を下さりました。お寺でお土産をいただくなんて初めてのことです。(休日巡礼もいただいた)また、梵鐘も「カン・カン・カン」と鳴らし、旅の安全を祈ってくれました。この三打の意味は、「現在・過去・未来」の意だそうです。

鈴木上人さんの案内で二級河川起点青野川まで少し上り(2～3分)蛇石バス停下方30mに蛇の大きな頭と覚しき大石(蛇石)が見られる。



鈴木住職



常石寺

11:20頃蛇石を発ち平戸口バス停迄戻り、そこから左手の上り坂に行く。道の両端にはアケビが一对。Nさん他いまだ割れず色つかずでも、頂いたかも。さらに山栗やホトトギスを見つけ楽しんだ。

道が下りに入り30分ほどで、一町田を過ぎ伊浜へ向かう。やがて眼下に波勝崎の山容と伊浜の海が見え漁船6艘を数えるもひたすら穏やかなたたずまいに見受けられた。伊浜のバス停を過ぎたあたりから若干登坂し約7～8分で第71番札所普照寺に着く。

時間が少々遅れるも全員無事到着ありがとう……。お遍路のお経一通り読経終了後直ちに御朱印いただきつつ、失礼して仏様の御前で昼職をいただく。

普照寺さんはかなりの高台に位置し、海岸ほかの景色は一日中見ているも飽

きないと感じた。N氏曰く「百万ドル夜景の2倍の価値」と口が滑った様子で



伊浜に向かう



普照寺



伊浜から松崎に向かう

した。(休日巡礼は、ここでも住職にお話をいただいた。793年、網にかかった観音像を上げた漁師の末えい18名は、今でも正月三が日に集まり、お祝いをしているとのこと)

昼食と大休憩タイムで、皆さん元気を取り戻し、数名はお寺の周りを散策して居たが、14時近く集合、写真を撮る。普照寺から県道121号を約300m位登坂して国道136号線に出のぼり、30分道路標識松崎・40分松崎13km・土肥37kmの道路標識。

道沿いにはハイビスカスの花また芝栗拾いのO氏4ケ。Nさん10ケアケビの一種。むべ1ケ。Nさんと愉快地歩く。

名残を惜しみつつバスに乗り帰路に着く予定となりそうだが、恒例の入浴出来る露天風呂をゲット。これが120%露天風呂。しかも外国人6~7名悪びれずはいってきた。帰りのバスの感想も高評価。今日一日すべてに感謝致します。どうもありがとうございました。



平日巡礼
伊浜・普照寺

休日巡礼 蛇石・常石寺

